

(朱絃舎)荻原浜子 箏曲家。早くから箏曲と舞踊を結びつけた先覚者。

おぎわらはまこ

明治14年政変1881 = 横浜に生れる。

国民之友始・1887 = 6歳：小出勾当に入門し、箏曲を習う。

帝国憲法発布1889 = 8歳：

帝国議会始・1890 = 9歳：

日清戦争始・1894 = 13歳：

Bushidou・・1899 = 18歳：

日露戦争終・1905 = 24歳：

韓国反日暴動1907 = 26歳： 京極流を創始した鈴木鼓村の芸風を慕って、鼓村楽堂箏曲寮に入門し、東京で最初の女弟子となると、
アソビ 創刊・1908 = 27歳： 生田流・山田流を研究して、*京極流朱絃舎荻原浜子を名のり指導し始め、

明治天皇没・1912 = 31歳：

九条武子や長谷川時雨などとの交遊もあった。

第一次大戦始1914 = 33歳： *坪内逍遙作「浦島」を帝国劇場で狂言座が公演した時の作曲は非常に好評、

ロシア革命・1917 = 36歳：

_横浜での宮城道雄との演奏会は、翌朝の新聞で'道雄は火の如く、浜子は水のごとき弾奏'と評される。

原敬首相暗殺1921 = 40歳：

_組曲に深い造詣をもち、大冊の「組曲譜箏曲大意抄」全てを自己の考案になる楽譜に翻訳し、

関東大震災・1923 = 42歳： *関東大震災で自宅が焼けて烏有に帰するも、再び着手、

円本時代始・1926 = 45歳：

金融恐慌・・1927 = 46歳： _九条武子の舞踊詩「四季」の「搦衣(きぬた)」を作曲、

また、_歌舞伎座で6代尾上菊五郎が踊った時も、自ら弾奏し大好評を博し、

満州事変・・1931 = 50歳：

その後、_愛弟子の高橋元子(藤間勘素娥)のために「惜春賦」を新作発表し、新橋演舞場でハーブとの合奏には自ら弾奏するなどしたが、

芥川直木賞始1935 = 54歳：

日中戦争始・1937 = 56歳： *「組曲譜箏曲大意抄」翻訳第1冊の浄書を終り第2冊の準備中、病の床につき、没した。